



2学期終業式 校長式辞（一部抜粋）

大きな学校行事では、どの学年も全力で取り組み、団結力を見せてくれました。その学年で一度しかない大切な時間を精一杯使って、今できる最高のものを全力で作りたいとする姿はとても尊いものでした。3年生の面接練習において、心に残った思い出として、体育会や合唱コンクールをあげて熱く語る人が多かったです。皆さんの勇姿は、ここにいる後輩達にしっかりと引き継がれていくだろうと思います。

本校に来られた方が皆、口を揃えて『素晴らしいですね』と言われました。何が素晴らしいのかと言えば、特に授業の内容や様子についてです。先生方がつくる授業の流れに対して、生徒の皆さんが迷いなく、自然にそして主体的な学習活動ができていることです。

113日間あったこの2学期はとても充実していました。生徒も先生もがんばっている学校でした。がんばったことは、その人に成果として残り、「もっとやれる」という自信が生まれます。この2学期で宇野中が得た一番のものはこの『自信』ではないかと思います。

思っていることやよいと感じたことが自然にできるようになって初めて1,2学期の成果が輝いてきます。作物も実っただけではやがて枯れていくでしょう。食物としていただき、エネルギーに変えてこそ次への推進力になっていきます。学んだことを自分の中にしっかりと取り込んで、毎日の生活の中に生かしていきましょう。

人権集会

人権週間に合わせて、全校で人権集会を行いました。

はじめに、各学級で話し合って決めた「人権宣言」と、それに基づく実践報告を行いました。

次に、学級委員会が、1年生は「長欠・不登校」、2年生は「障がい」、3年生は「ヤングケラー」をテーマとした人権劇をしました。

人権についての正しい知識をもち、目の前の問題に気付く力を養うための機会となりました。一人一人の人権を大切にできる社会の担い手になれるよう、生徒と教職員がともに学びました。



総合的な学習の時間の取組

本校の総合的な学習の時間は、3年間を通じたカリキュラムを自校で設定したプログラムで実施しており、主に「地域探究（玉野の地域学）」「職業探究（キャリア教育）」に取り組んでいます。

本号では、各学年の取組を紹介したいと思います。

1 年生

1年生は「玉野の地域を知る」に取り組みました。玉野市にある施設、イベント、事業所など、各自で設定したテーマについて、現状を把握して課題を見だし、改善策をプレゼンテーションしました。クイズを取り入れるなど、工夫して発表することができました。



2 年生

2年生は、キャリア教育の一環として、それぞれの生徒が自分の関心が高い業種に合わせてグループを形成し、ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル、掛谷建設、宮原製作所など玉野市内にある事業所を訪問しました。訪問時には、見学やインタビューなど、多くの気付きと学びを得る機会となりました。今後は、インタビューや調べたことを基に、学年で発表会を計画しています。



3 年生

玉野市における課題を発見し、その解決に向けた具体的方策をまとめ、玉野市の未来の在り方について提言する「たまの未来プロジェクト」において各グループから発表する機会をもちました。

各班からの一方的な発表ではなく、ブースに分かれ、質疑応答を中心としたポスターセッション方式により、対話型を通じて学びを深める機会となりました。



編集後記

学校行事、学年レベルでの学習活動、外部講師を招いた特別授業など、多くの学びに取り組み、学校全体で成長できた2学期となりました。

HPは随時更新し、学校通信だけでは紹介できなかった話題や多くの写真を掲載していますので、右のQRコードからHPをぜひご覧ください。

